

鹿 県 歯 発 第 8 6 号
令 和 5 年 5 月 1 7 日

九州各県歯科医師会長 様

公益社団法人 鹿児島県歯科医師会
会長 伊地知 博史
(公 印 省 略)

令和5年度鹿児島県歯科医師会生涯研修セミナーの参加について（会員周知依頼）

謹啓 新緑の候、貴会におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、本県では来る7月8日（土）に標記セミナーを下記の要領にて開催することになりました。

つきましては、九州各県歯科医師会会員の皆様にご参加いただきたく存じますので、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、貴会会員へのご周知をお願い申し上げます。

なお、セミナーの参加申し込み等詳細につきましては、別添のチラシに記載してございますので、ご確認いただけますと幸いです。

敬 具

記

日 時	令和5年7月8日（土）18時30分から20時00分（予定）
開催形式	オンライン開催
講 師	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 教授 田中 達朗 先生
演 題	「歯科領域における画像診断と放射線被ばく」



鹿児島県歯科医師会
総務課 尾上 久美
TEL : 099-226-5291
Mail : gaku@8020kda.jp

令和5年度 鹿児島県歯科医師会生涯研修セミナー

歯科領域における画像診断と放射線被ばく

講師：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
顎顔面放射線学分野 教授 田中 達朗 先生

日時：令和5年7月8日(土) 18:30~20:00

参加方法：オンライン受講 (WebexミーティングによるWeb受講)

受講申し込みについて

*本セミナーの参加方法はオンライン受講のみです。参加ご希望の方は
下記URLもしくはQRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/nkd5SvndFxGcMP2p7>



*オンライン受講はお使いのパソコンだけでなくモバイル端末（スマートフォン・タブレット等）からも視聴可能です。

ただし、お手持ちの端末にアプリケーションソフト【Webex】のインストールが必要となります。

*申し込みが完了しますと、登録したメールアドレス宛てにGoogleフォームから回答のコピーが自動送信されます。届かない場合は研修会の申し込みができておりませんので、お手数ですが、再度お申し込みをお願いいたします。

※念のため【迷惑メールフォルダ】に紛れていないかご確認ください。

*研修会前日にWebexミーティングの招待メールとオンライン受講に関する詳細を送信予定です。

【申込締切：6月30日（金）まで】

【問合せ先】鹿児島県歯科医師会事務局 TEL:099-226-5291

『歯科領域における画像診断と放射線被ばく』

講師：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
顎顔面放射線学分野 教授 田中 達朗 先生

<略 歴>

1996年 九州歯科大歯学部歯学科卒業
2000年 九州歯科大学大学院歯学研究科修了 博士（歯学）
2000年 九州歯科大学 助手
2004年 九州歯科大学 講師
2015年 九州歯科大学 准教授
2018年～2019年 The University of Hong Kong, Faculty of Dentistry,
Oral and Maxillofacial Radiology (Honorary Associate Professor)
2021年 鹿児島大学医歯学総合研究科 先進治療科学専攻腫瘍学講座
顎顔面放射線学分野 教授

<資 格>

日本歯科放射線学会 認定医・専門医・指導医
日本歯科放射線学会口腔放射線腫瘍認定医
日本口腔診断学会 認定医・指導医

<抄 録>

今日の医学・医療の進歩は、目を見張るものがあります。その流れは、歯科放射線学においても同様で、現在の歯科領域の診断においてはCT、MRI、超音波検査、PET-CT等が臨床応用され、病変の三次元的把握や機能的評価が行われています。しかしながら、日常の歯科診療では、現在においてもデンタルエックス線画像、パノラマエックス線画像が中心的役割を果たしており、この診断に慣れ親しんできたものにとっては、CTやMRIなどの利用に抵抗を感じるという歯科医も少なからず存在するのではないかと思います。そこで、今回の講演では、日常の歯科診療に対して利用可能な様々な画像検査法を紹介し、その利用に対する抵抗感を払拭してもらえるように臨床でよく遭遇する症例を中心として読影方法、読影時のポイントなどについて解説する予定です。同時に、歯科医療における放射線被ばくの状況についても解説し放射線についての正しい知識を持って頂けるように解説する予定です。